

医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学臨床検査医学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2021年2月 福島県立医科大学医学部臨床検査医学講座 志村浩己

【研究課題名】超音波検査における肝臓の粘性評価と超音波減衰度の臨床的有用性に関する研究

【研究期間】2021年2月～2024年3月

【研究の意義・目的】

1990年代の日本では肝炎ウイルスの持続感染により発症する肝細胞癌（HCC）がHCC全体の約90%を占め、肝炎ウイルスが原因でない（非B非C型）HCCは約10%でした。近年は肝炎ウイルス治療の進歩によりウイルスを背景とするHCCは減少していますが、肥満人口の増加に伴い、脂肪肝が最も有病率の高い慢性肝疾患となり、2015年には脂肪肝由来を含む非B非C型HCCが32.5%と増加しています。HCC発症に肝線維化の有無が関係し、その肝線維化評価は肝生検が標準的検査とされていますが、肝臓に針を刺す侵襲的な検査です。現在、非侵襲的な肝線維化評価法として超音波を用いたVibration controlled Transient Elastography（VCTE）やShear Wave Elastography（SWE）が保険適用となり臨床応用されています。

VCTEとSWEは、ともに肝生検に代わる線維化評価が可能と報告されています。しかし、VCTEおよびSWEは線維化のない急性肝炎でも高値を示すことが知られ、弾性の要素と考えられる線維化以外にも、炎症やうっ血・黄疸などの粘性の影響も受けることが明らかとなってきました。

近年、新しい超音波パラメータとしてShear Wave Dispersion（SWD）とAttenuation Imaging（ATI）が開発されました。SWDは急性肝炎やうっ血肝、黄疸などに関連し、ATIは肝脂肪量と関連すると考えられていますが、臨床的有用性は不明な点があります。

今回の研究はSWE、SWD、ATIの各疾患および血液検査や通常の超音波所見などの臨床データとの関連性の解明を目的とし、上記3者に加え、従来から行われてきたBモード超音波所見および血液検査結果などを加えた新たな診断モデルを探索することを目指します。

【研究の対象となる方】

2018年5月から2020年12月までに当院検査部で肝臓の超音波検査（SWDあるいはATIの測定を含む）を受けている患者さん約4,000名。

【研究の方法】

上記対象者の年齢、性別、病名、肝臓超音波検査データ、血液検査データなどの臨床情報を解析に使用させていただきます。

収集した情報を解析し、SWE、SWD、ATIの臨床的有用性について検討します。

研究に際しましては、使用するデータは匿名化を行い、プライバシー保護に努めます。

【研究組織】

	（所属）	（職）	（氏名）
研究責任者	福島県立医科大学医学部臨床検査医学講座	主任教授	志村浩己
研究分担者	福島県立医科大学附属病院検査部	副主任医療技師	石橋伸治
研究分担者	福島県立医科大学附属病院検査部	検査技師長	山寺幸雄

研究分担者	福島県立医科大学附属病院検査部	検査副技師長	松田美津子
研究分担者	福島県立医科大学附属病院検査部	専門医療技師	幕田倫子
研究分担者	福島県立医科大学医学部臨床検査医学講座	主任医療技師	金子裕眠
研究分担者	福島県立医科大学医学部消化器内科学講座	主任教授	大平弘正
研究分担者	福島県立医科大学医学部消化器内科学講座	講師	阿部和道

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
 公立大学法人福島県立医科大学医学部臨床検査医学講座 担当 志村浩己
 電話: 024-547-1918 FAX: 024-547-1919
 E-mail: rinkens@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取消すことは困難な場合があります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
 公立大学法人福島県立医科大学医学部臨床検査医学講座 担当 志村浩己
 電話: 024-547-1918 FAX: 024-547-1919
 E-mail: rinkens@fmu.ac.jp